

たいよう

発行所
大洋基礎工業株
たいよう新聞委員会

最前線レポート

新潟少年学院にて TSC工法を施工

工事件名

新潟少年学院新宮(建築)工事

工事場所

新潟県長岡市御山町

工事期間

平成二三年四月一一日

平成二三年五月三一日

発注者

法務省大臣官房 施設課

元請

株式会社フジタ

施工概要

深層混合処理TSC工法

L型擁壁部

φ=1000mm

削行長=10・7m

改良長=7・0~8・5m

本数=一八一本

固化材添加量=三五〇kg/m³

(室内配合試験により)

TSC工法の施工を開始してい

ます。今回の現場は七年前の中

越地震時に地滑りが起き、その

上に四五mの盛土を行つて復

旧した土地で、今回L型擁壁を

新設するため基礎補強を目的と

し、地盤改良が施工されました。

元請様からの事前情報によると、

震災後に盛った盛土部に伐根及

びコンクリートガラ等が埋まつ

このたびの震災被災地の皆様には心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。

私の当社での経歴をお話します。株主総会が四月二六日火曜日に開催されました。毎年のことでありますが、今年当社の第四四期定時株主総会について書いておりましたが、株主の皆様や取引先の皆様により当社を知つて頂く機会のひとつとして記事にしております。

私の当社での経歴をお話します。すと、平成五年当社へ出向し、成九年一月ジャスダック市場(当時は店頭登録)に上場、平成一二年四月取締役に就任し、

管理本部長として長きにわたり

お世話になりました。

この間で特に印象

に残ることは、なかでも株式公

司に携わつておりました時のこ

とで、公開の平成九年は山一証券等が倒産した年で証券市場は低迷する中、公開を延期、中止

が珍しくない時期でした。この

英断で公開が決定されました。

今でもよく決断されたことと思つ

ております。

新しい取締役の六鹿敏也氏は、

常勤監査役から監査報告がなさ

れた後、報告事項として事業報

告及び計算書類の内容報告、次

いで本年の決議事項として次の

議案が上程されました。

第一号議案の余剰金の処分では、期末配当として当社普通株式一株につき一円五〇銭を実施致しました。第二号議案の取締役八名選任の件では、改選の期で新人を含め八名が選任されました。この改選で私が取締役任期満了となり退任いたしました。

私の当社での経歴をお話します。

私は、この期より株主総会に

おいて全ての議決事項について

賛成、反対及び棄権の議決権の数を「臨時報告書」として財務

局に提出が義務付けられ公開さ

れることとなりました。これで

投資家にガラス張りになつてい

るのではなく、株主総会当日の模様く

らいと言つてはどうか。

事業報告の内、前期(四四期)

の業績につきましては期初より

住宅地盤改良工事が前年を上回

り順調に推移しました。これは

新設住宅着工戸数が政府による

住宅購入者向けの優遇政策や住

宅ローンの低金利を背景として

回復の動きが見られたことによ

ります。一方、特殊土木工事は

かねてより営業推進しております。

新設住宅着工戸数が政府による

住宅購入者向けの優遇政策や住

宅ローンの低金利を背景として

回復の動きが見られたことによ

ります。

新設住宅着工戸数が政府による

住宅購入者向けの優遇政策や住

宅ローンの低金利を背景として

